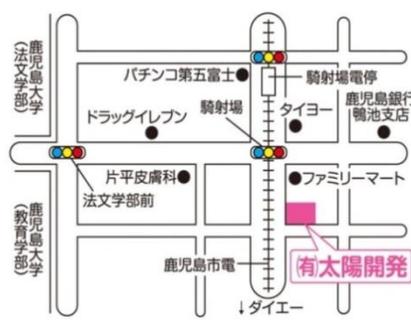


# SUNSHINE

第 77号 2014年 1月発行  
 有限会社 太陽開発  
 鹿児島市鴨池2丁目1-12 TEL099-255-3623  
 E-Mail master91@taiyou1991.com



太陽開発 検索 クリック!!

今年最初の“SUNSHINE”ですので、私の今年のお正月の事と、今年の目標をこの紙面を借りて、綴ってみようと思います。今年のお正月は京都で除夜の鐘を聞きました。どうしても1月2日に京都の上賀茂で人と会わなければならない、夫婦で京都に行ってきました。12月31日屋敷越え京都駅へ着き、ホテルへチェックインし、その日は歩いて、豊国神社へ寄り、大谷本廟で妻の祖母のお墓参りを済ませ、墓地の中を通る小道を歩いて上り、清水寺まで行きました。清水寺は大晦日にもかかわらず、たいへんにぎわいで、円安が進行した影響か、外国(東南アジア)の観光客がたいへん目につきました。ここで豊国神社を紹介させていただくと、豊国神社は、豊臣秀吉を祀る神社です。大坂夏の陣で豊臣氏が滅亡した後、徳川幕府の命により、廃祀されたが、明治天皇が天下統一しながら幕府を開かなかったのは尊皇の功臣であると豊臣秀吉をたたえ、再興を命じた神社です。本殿の正面に建つ、国宝の唐門が参拝客を出迎えてくれます。

清水寺から産寧坂を下り、高台寺、八坂神社へと散策しました。八坂神社では初詣の参拝客目当ての的屋が商品名を染めたカラフルなれんを掲げて所狭して屋台を出店していました。活気があたり一面充満していました。

元旦は、バスで北野天満宮まで行き、歩いて千本釈迦堂、千本えんま堂、建勲神社、大徳寺まで行きました。

私は旅行に行った時は東西南北を頭にえがきながら、とにかく歩きます。私は普段は朝食を取りません。しかし旅先のホテルではバイキング形式の朝食付きになっているので、つい食べ過ぎてしまいます。だからとにかく歩くことによってエネルギー消費に努めます。今回も相当歩きました。夜のお酒も旨かったです。

建勲神社(たけいさおじんじや、けんくんじんじや両方で親しまれています)は船岡山の中腹にあり、織田信長を主祭神とする神社です。参道は急な石段が続いており、当日は境内で、しょうがの効いたあま酒がふるまわれており、冷えた体にはたいへんありがたかったです。境内には、信長が桶狭間の合戦で舞った「敦盛」の一節「人間50年、下天の内をくらぶれば夢まぼろしの如くなり、ひとたび生を得て、滅せぬ者のあるべきか」が彫られた石碑があります。ちなみに私の座右の銘は、「人生2度なし」です。

上記以外に織田信長が明智光秀に討たれた「本能寺の変」で知られる本能寺、五重塔で有名な東寺、紅葉の時期に張り出し舞台から眺めるモミジが有名な東福寺、最後は商売繁盛を祈願するために、伏見稲荷大社へお参りに行ってきました。今年は多くの神社でお参りをしたのできつとご利益があると思っています。

今回、豊臣秀吉、織田信長ゆかりの神社に寄ってきましたが、初めから特別意図していたわけではありませんでした。地図をみながら歩いていく途中で自然と選択したコースです。お正月は、とにかくどの神社もたいへん多くの参拝客でにぎわっていました。ただ、正月ということもあり、食事をする店がお休みで少なく、ちょっとだけ大変でした。

最後に、今年の私の目標の一つに英会話(中学生レベル)をマスターすることです。目的は外国旅行に行きたいのと、弊社には外国の留学生が部屋を借りに来たり、家賃を持参したりするので、カッコよく会話を交わせるようにする為です。去年より、朝夕の通勤時、車の中で覚えるより、慣れることに重点を置き、英会話のCDを聴いています。又、自宅で中学生のころを思い出しながら、筆記体で英会話の文章を書いています。

## ★社員の紹介★

今年も社員一同、お客様のお役に立てる様一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。



**神苗**  
川辺町出身  
ネイルが好きな私



**柿内**  
伊集院出身  
暗算が得意です



**田淵**  
中山出身  
猫大好きな私です



**永吉**  
東郷町出身  
新婚ホヤホヤです



**福崎**  
星ヶ峯出身  
釣り好きの僕です



**上西園**  
指宿市出身  
ドライブ・温泉大好き



**上益**  
枕崎市出身  
車が好きです



**守屋**  
肝付町(高山)出身  
子供が生まれました



**吉原**  
頼娃町出身  
一生懸命頑張ります

## 鹿児島黒牛・黒豚 『中山亭』



鹿児島市西田1丁目3-22 富士ビル1F

営業時間 11:30~23:00

TEL099-286-0757

今回ご紹介させて頂くお店は、当社でマンションをご契約させて頂いたお客様のお店【鹿児島黒牛・黒豚 中山亭】さんです。鹿児島市西田1丁目にある炭火焼肉のお店です。鹿児島産の黒牛の中でも最も優れたブランド牛『長島黒牛』を直営牧場より直送している為、生産からお客様へのご提供までがわかり、お客様にとっても安心、安全なお肉を使用しています。また、牛飼いであるオーナー様が味と肉質にこだわり、ビール酵母を混ぜた特製の飼料で丹精込めて育てた黒牛のみを使用しています。みなさん、『トレサビリティ』ってご存知ですか？私は今回初めて聞いたのですが、固体識別番号らしいです。そう言われても私はまだピンとこなかったのですが、簡単に説明しますと、トレサビリティを調べればどこで飼育された牛のお肉を使っているかが、一目でわかるシステムだそうです！肉系のお肉にはトレサビリティが付いてない場合が多いので、産地がどこかわからないケースがあるらしいですが、中山亭は直営牧場だから、お肉から内臓、鳴き声までもが長島の牧場から、直接来てます!!どうですか？安心してお肉を堪能できますよね！産地偽装があちこちで騒がれている中、何も心配せずにお肉を食べられるのが中山亭なのです!!

日ごろお世話になっている業者さんと食事に行きましたが、お肉がすごく軟らかくて、ついつい食べ過ぎてしまいました。(もちろんお酒の方も...)今回は、コース料理を頼みましたが、最後の石焼ビビンバまで美味しく頂きました。中山亭は平成16年にオープンして今年の5月で10周年になります！長島にあります直営の牧場は35年の歴史が有るそうです。牧場には1,600頭も飼育していて、その中から、選りすぐりの黒牛をお客様にご提供しています。今年からはメニューもコース内容もガラッと変更するので、一度、食べた方もまた違う楽しみが出来ますね！【守屋】



## 今月の一冊 No.76



**森見登美彦**1979年、奈良県生まれ。京都大学農学部卒、同大学院農学研究科修士課程修了。2003年『太陽の塔』で日本ファンタジーノベル大賞を受賞しデビュー。07年『夜は短し歩けよ乙女』で山本周五郎賞を受賞。同作品は、本屋大賞2位にも選ばれる。他の著書に『きつねのはなし』『<新釈> 走れメロス』『有頂天家族』等



今回のカバーデザインは、中村祐介です。森見登美彦の作品では、以前紹介した『夜は短し歩けよ乙女』も手掛けています。(左:ハードカバー・右:文庫本)女の子がかわいらしいですね。そもそも私が中村祐介の存在を知ったのは、『夜は短し歩けよ乙女』の文庫本でした。その為か数多くあるカバーデザインのなかでもこれが一番のお気に入りです。主人公の女の子のイメージにもぴったりです。さて、今回紹介する『四畳半神話大系』ですが、こちらに登場する女の子は孤高の乙女とあるように、謎のクールビューティです。森見作品は大好きなのですが、その面白さを上手くお伝え出来ないのが、解説の佐藤哲也氏のお言葉をそのまま引用させて頂きます。「直球勝負でむやみと愛を叫ぶような小説ばかりが幅を利かすご時世に、綾もあれば嘘もある屈折したモノログを硬派の文体にのせて巧みにあやつり、実に鮮やかに、そしてあきれるほどのばかばかしさで青春の煩惱を描き出していた」...そうそう、そうなんです！あきれるほどのばかばかしさを硬派の文体で...が癖になるのです。しかも舞台は現代の京都。京都を歩いていると、「あーこの人、森見ファンだな」と分かる人を見かけることがあります。なぜ分かるかという、それは森見ワールドに浸ってみれば貴方にも分かります。ですから、今度京都を旅する機会があれば、その前にこの2作品を読んでから出かけてみて下さい。今までとは一味違った京都が楽しめるはずですよ。ちなみに森見氏は京都の案内本も出されているので、その

私は冴えない大学3年生。バラ色のキャンパスライフを想像していたのに、現実とはほど遠い。悪友の小津には振り回され、謎の自由人・樋口師匠には無理な要求をされ、孤高の乙女・明石さんとは、なかなかお近づきになれない。いっそのこと、びかびかの1回生に戻って大学生活をやり直したい！さ迷いこんだ4つの並行世界で繰り広げられる、滅法おかしくて、ちょっぴりほろ苦い青春ストーリー。(角川文庫カバーより)

